



夜空に燃え映える花びらの宴 (明星桜生中継、4月8日)

伊万里

宣言します！
さわやか市政



ふくじゆつなぎもんざら いろえまじ
福寿繋文皿 (色絵素地)
鍋島 1700~1730年代
高さ 8.4 口径29.7 底径 16.2cm

広報
Imari

2005
(平成17年)

5

今月の主な内容 NO.615

特集 伊万里はもっと変わります……	2
インフォメーション伊万里……	6
住みたいまち！行きたいまち伊万里…	14
教育と文化……	15
みんなの広場……	16
ほがらかページ……	18
スポーツ……	20
くらしのチャンネル……	21
お便り……	24

「住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里」の
まちづくりスタート事業・平成16年度活動報告

めざしているのは、

「住みたいまち」と「行きたいまち」。

市民と行政が真剣に取り組めば、

伊万里はもっと変わります。



伊万里

これまで築き上げてきた伊万里市の「まちの魅力」を次世代に引き継ぐとともに、これからも誇れるまちにしていくために、16年度は市民アンケート、市民グループインタビューを行い、外部機関がその分析を行いました。

グループインタビューに参加したのは、農業、観光、商店街、文化、福祉、教育など、さまざまな分野で活動している市民15名。2つのグループに分けて座談会を行い、活動分野が異なる市民同士が意見交換をしました。

伊万里の「今」を知る2つの調査活動から見えてきた、まちづくりの課題を報告します。

2つの調査活動でわかった「まちづくり」の課題

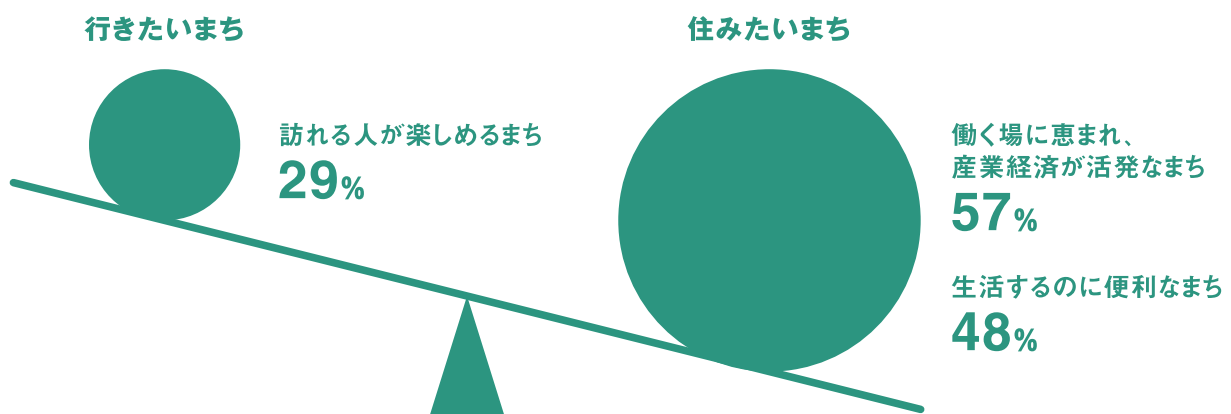
1. 「行きたいまち」への意識が希薄

伊万里市の将来像を聞くと、「住みたいまち」を示すものが5割から6割の回答を得ているのに対し、「訪れる人が楽しめるまち」は3割程度で、「行きたいまち」に対する意識は薄いようです。

しかし、「行きたいまち」とは、単なる観光客の誘致ではありません。伊万里のさまざまな地域資源を全国にアピールして、「伊万里」の価値を高め、イベントなどに人を呼び込み、伊万里ブランドの特産品や農産物の販路を広げるなど、地域を活性化していくことにつながるのです。

市民が望む「産業経済が活発なまち」「生活するのに便利なまち」といった「住みたいまち」を実現するためにも、「行きたいまち」をめざす意識が大変重要なのです。

市民が望む伊万里の将来像



市民グループインタビューの発言より

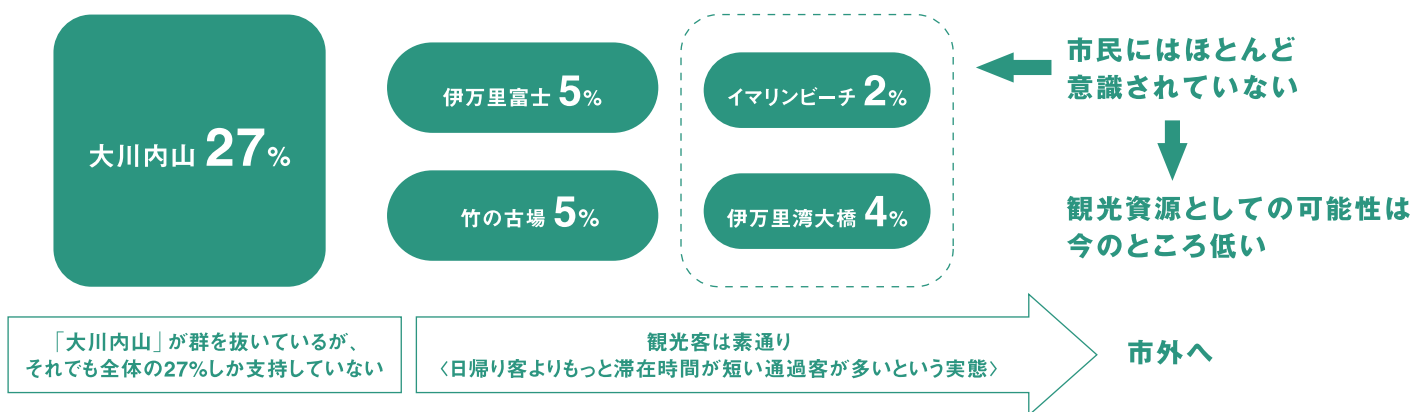
- ・ イベントはやっているが、外の人を呼ぶことを意識していない。
- ・ 商店街は地元市民が対象。観光客はターゲットではない。
- ・ 東京などに行くと、伊万里が知られていない。「伊万里ってこんなものか」と思った。
- ・ 逆に、伊万里のことを質問されても答えられず、市民として恥ずかしい思いをした。

2. 伊万里ブランドは「焼にはあっても、街にはない」

今回のアンケートでは、市民に「人にすすめたくなる場所」を聞きました。「住みたいまち」として住民の満足度を支えるものであり、「行きたいまち」として観光客にアピールするものだからです。

トップは「大川内山」。といっても27%の支持しかありません。でも、ほかの場所は5%不足で、その価値を高める努力が必要です。日帰り客というより「通過客」となっている観光客に、伊万里の農産物や地域資源を知ってもらい機会を増やし、地域の活性化につなげる工夫が必要です。

市民が人にすすめたくなる場所



市民グループインタビューの発言より

- ・大川内山に観光ツアーで来た人は、20分見たら平戸へ行ってしまふ。
- ・伊万里駅から大川内山へのバスが1日3本程度しかないと聞いて、驚いた。
- ・観光客は伊万里にきても、どこを見ればいいのかわからない。
- ・カメラスポットとして陶板はあるが、それらをつなぐ街に魅力がない。陶器の街という印象がない。
- ・明星桜など、観光資源はいくつかあるが、道路標識が不親切で、駐車場もなく不便。

3. 市民同士の交流は、あるようで「ない」

市民活動のグループはたくさんありますが、それぞれが孤立して活動しているのが実態です。互いに何をしているか、あるいはその存在を知りません。お互いが何のためにどんな思いでその活動に取り組んでいるのか、日常的に知ることができるような「市民活動の情報ステーション」が必要です。

市民グループインタビューの発言より

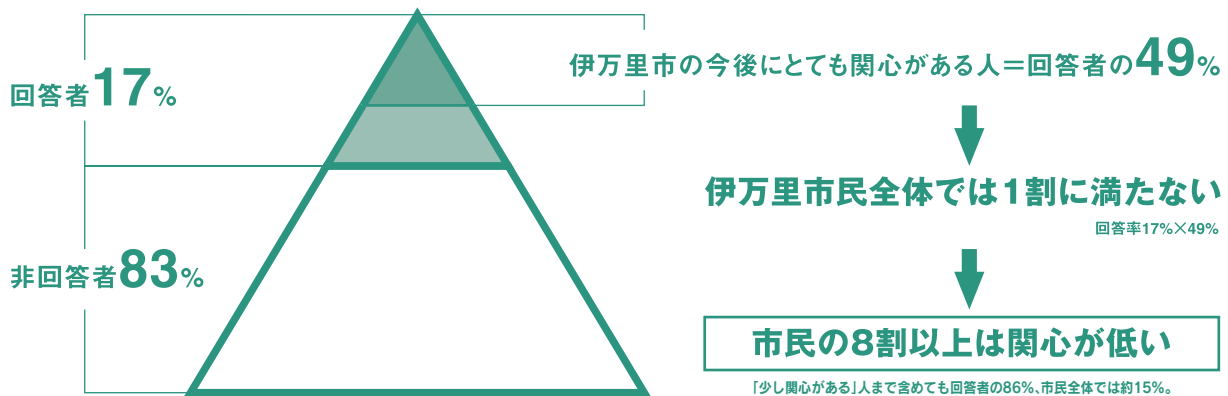
- ・長老が新しいことに取り組んでくれない。若い人は市の活動に無関心。
- ・市民から観光案内所にさまざまな地域や団体の行事について問い合わせがくる。
観光案内所はPR拠点になるので、イベントの主催者は事前に情報提供してほしい。
- ・市民同士のつながりをいかに持つかが大事。まとまっていけば自然に活性化して、お客さんも来る。
- ・いろんな団体の人と話すのは初めて。これからはこういった会を何回もやってほしい。
行政というより、市民が集まってみんなでやっていきたい。それを期待する。

4. 市民のまちづくりへの関心が低い

アンケート結果だけを見ると、「伊万里市の今後にとっても関心がある」人は49%、「少し関心がある」人も37%あり、市民の関心はとて高いように思えます。しかし、全世帯を対象とした市民アンケートの回答率は、わずか17%にとどまっています。関心の低い人がアンケートに答えていないと考えると、8割以上の人が伊万里の今後に関心が低いと思われます。

今後、伊万里のまちづくりを進めていくときに、これまでの市民と行政との関係とは違う、互いの責任を果たし、ともに考え、行動していく「協働」という新しいスタイルでまちづくりを進めて行きましょう。

市民アンケート回答率



市民グループインタビューの発言より

- ・ 周囲にまちの活性化を呼びかけても「それは行政の仕事」と協力してくれない。
- ・ 昔は助成金が出ていたので活動もしやすかった。これからは市民のパワーを行政が上手にカバーしてほしい。
- ・ 今までのように、市民は「お金をください」、行政は「お金がないからだめです」という一方的な話では衝突してしまう。お互いに得意なことで協力し合うべき。
- ・ 以前は行政主体だったが、今は違う。行政は市民活動の事務局として働いてほしい。

伊万里の「これから」をつくる活動へ

16年度のスタート事業では、内部の目で伊万里を評価し、まちづくりに取り組むための課題を抽出しました。17年度は、外部の目からも伊万里を評価し、「住みたいまち伊万里、行きたいまち伊万里」の実現に向けて、具体的に今後取り組むべき活動を検討していきます。みなさんにも参加を呼びかけていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 外部調査1:福岡&佐賀県民のアンケート調査
2. 外部調査2:まちづくりキーマンによる伊万里の評価
3. まちづくりワークショップの開催
4. ワークショップの実施を情報発信

問合せ先：企画政策課 ☎232111 (内線403)

食のまちづくり推進計画案に対する 意見を募集します

■あなたの意見を
お寄せください

塚部市長に『食のまちづくり推進計画案』を提出する『食のまちづくり推進計画策定検討委員会』の鴨川幸司委員長（右）と金子弘子副委員長（中央）



『食』に対する機運が高まるなか、生産者から消費者までをつないだ『食』を活かしたまちづくりの考え方や方向性を明らかにするため、市民などからなる『食のまちづくり推進計画策定検討委員会』（鴨川幸司委員長以下29人）は、昨年の7月7日から『食のまちづくり推進計画案』の検討を積み重ね、本年3月29日、とりまとめた計画案を市長に提出しました。

今後、この推進計画に基づき、市民と事業者と市の協働により『食のまちづくり』を推進していくため、この案を公表し、皆さんからの意見を参考に、食のまちづくりを推進します。

皆さんの食のまちづくり推進計画案に対する意見をどしどしお寄せください。

市民意見提出手続制度案内

- 意見募集期間 5月1日～5月31日（火）
- 公表する案および資料
食のまちづくり推進計画案
- ※広報では、資料が多量であるため、概要のみを掲載しています
- 案の公表先・入手先
 - ①男女協働まちづくり課（市役所3階）または情報広報課市民サービス係
 - ②各町の公民館または市民図書館
 - ③市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp>
- 意見の提出方法
意見は、住所、氏名（または団体名）を明記の上、次のいずれかの方法により提出してください。なお、お寄せいただいた意見については、その概要と市の考え方を市のホームページなどで公表します
 - ①電子メール danjo-machizukuri@city.imari.lg.jp
 - ②郵便 〒848-8501 伊万里市役所 男女協働・まちづくり課 宛
 - ③直接提出 書面を持参される人は案の公表先①②へ提出してください
 - ④ファックス 0955②7213

問合せ先
男女協働・まちづくり課
☎③2111内線485

食のまちづくり推進計画案の概要

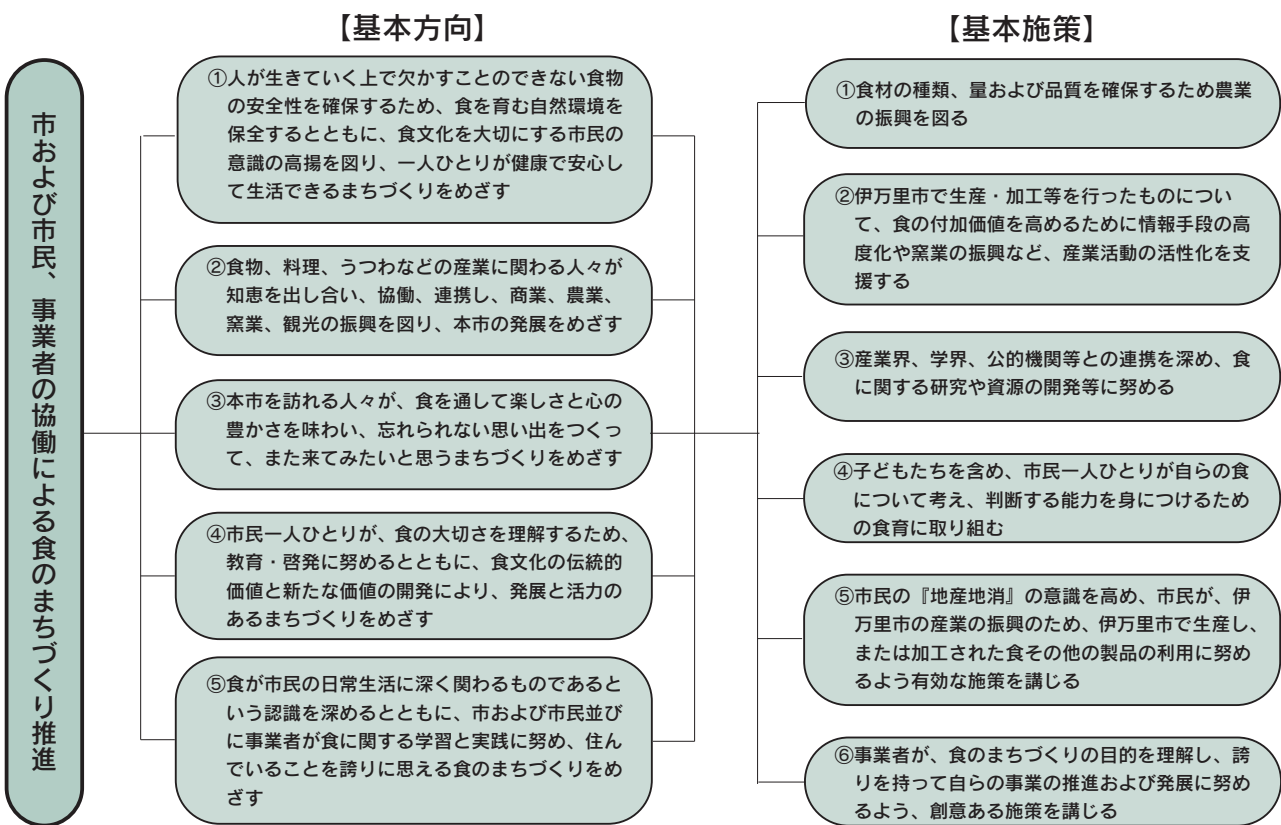
●基本的な考え方

食のまちづくりに関する考え方や方向性を明らかにし、食を基調として策定したまちづくりの施策をもとに、市および市民並びに事業者が協働して、学習と実践による活力のあるまちづくりを推進します

●計画期間

計画の期間は、おおむね平成17年度から平成26年度までの10年間とします。ただし、今後の社会情勢や環境の変化などを考慮し、必要に応じて見直しを行うものとします

●推進体系



●具体的な取り組み

- (1) 『食のまちづくり宣言』の普及・啓発
- (2) 農林水産業の振興および地産地消の推進
 - ①農村レストランおよび活動拠点づくり
 - ②伊万里産という『のぼり旗』の検討
 - ③生産者と消費者とのふれあい交流事業の開催 など
- (3) 食育および健康づくりの推進
 - ①食生活指針の普及・定着
 - ②食育研究会の設置
 - ③『食育ボランティア制度』の設置 など
- (4) 観光および交流の促進
 - ①伊万里の名物弁当の開発普及
 - ②レシピ集の作成
 - ③海外市場の開拓

●推進体制の整備

食のまちづくりを推進するための審議・決定機関として、関係機関や各種団体の長および公募の市民並びに市の関係所属長などにより構成した『食のまちづくり推進会議』を設置し、積極的な事業の展開を図ります。また、昨年度設置した『食のまちづくり推進計画策定検討委員会』を発展させた『食のまちづくり推進委員会』（仮称）を設け『すぐに取り組めるもの』『中・長期的に取り組むべきもの』などに分類しながら、具体的な事業などを検討、協議、実施するなど、計画的、効率的な推進体制を整備します

あなたも消防団に入って 地域の仲間と汗を流してみませんか

消防団の概要

- 団員数……1,018人 (H17.4.5現在)
 分団数……1本部 12分団
 主な活動……●火災の鎮圧
 ●風水害の軽減
 ●警戒警備
 ●行方不明者捜索
 その他の活動……●夏季訓練・夏季点検 (8月)
 ●広報活動 (月2回)
 ●一般家庭火の元点検
 ●消防出初式 (1月)
 ●春、秋の火災予防運動行事
 ●火災防御訓練など

伊万里市消防団は、市民の尊い生命や財産を火災などの災害から守るため日夜頑張っています。現在市内には12分団、1018人の団員が市民の安全確保のために努力しています。

今回は、その団員の中から、各分団のホープやリーダーを紹介します。皆さんも安全で安心できるま

団本部

女性部 (団員)
中島 佐由紀
(松浦町中通)



女性消防団に入団して3年目になりました。消防団活動も最初のころは、果たしてわたしで務まるかなと思っていましたが、先輩の助けもあり、今では楽しく活動させて頂いております。これからも火災予防の啓発活動に力を入れ社会に貢献していきたいと思っています。

伊万里分団

第2部 (団員)
村岡 利和
(下土井町)



わたしは地域で青年部に入っていますが、消防団もまた青年部と同様に地域に根ざした活動ができると思い入団しました。実際に入団してみても消防団の重要さ大変さを実感しました。今後も、地元の安全のため少しでも貢献していきたいと思っています。

牧島分団

第2部 (団員)
副島 龍吾
(木須町木須西)



消防団に入団して1年が経ち、いろんな人と知り合えて、先輩との交流や宴席がこんなに楽しいとは思いませんでした。今後は、地元で火災があればすぐに駆けつけて、地元住民の生命・財産を守っていきたくです。そのために、訓練をつんで頑張ります。

大坪分団

第6部 (団員)
松尾 昌明
(新天町3区)



消防団に入団して間もないころに火災が多発し、多くの火災現場に従事しましたが、こんなに火災が多いとは思っていませんでした。また、暑い夏の訓練、寒い出初式などがあり大変ですが、人と接する機会も増えやりがいを感じました。今後は、特に予防活動に力を入れていきたいと思っています。



二里分団

北村 健
（二里町東八谷郷）
第4部（団員）

消防団に入団してみて、火災現場での消防団活動は、イメージ以上に厳しいものでした。しかし、宴席では和気あいあいとしており、多くの人と知り合う機会があるので自分のためになっています。今後は、災害があれば積載車ですぐ現場に急行し、地域住民に頼られる消防団員になりたいです。



南波多分団

青木 健朗
（南波多町小麦原）
第1部（団員）

消防団に入団したことにより、地域の先輩と接する機会が多くなりました。今後は、これまで以上に地域の人たちとのコミュニケーションをはかり、災害を防げるよう努力していきたいと思います。また、活動時には少しでも手助けができるよう、気を配って現場活動を行いたいと思います。



大川内分団

副島 純一
（大川内町岩谷）
第1部（団員）

昨年から消防団に入団しましたがこの1年間訓練などに参加して、消防団の活動がわかったような気がします。仕事をしているときでもサイレン音が聞こえると「どこが火事なのかな」と気になります。まだ、実際の火災現場へ出動したことはありませんが、火災があった際には役に立てるよう頑張ります。



東山代分団

石井 正
（東山代町里）
第1部（団員）

消防団に入団する時は、正直あまり気が進みませんでした。実際入団して活動を行ってみると、地元のために活動するのもいいものだと思います。今後の抱負としては仕事が忙しい時もありますが、可能な限り消防団活動には参加して、地域に少しでも貢献できたらと思います。



大川分団

川口 正泰
（大川町立川）
第3部（団員）

消防団での活動はとてもやりがいがあります。また、先輩と酒を飲む機会も多くとても楽しいです。これからも訓練などの行事には積極的に参加して、地域住民の人たちから頼られるような消防団員を目指して頑張ります。



黒川分団

吉田 啓一
（黒川町奥野）
第3部（団員）

消防団に入団した当初は戸惑いもありましたが、今では入団してよかったですと思います。一昨年は、市のポンプ操法大会に出場し、1か月の訓練を行い団員どうしの気持ちが一つになり団結力が高まりました。これからも、地域のために仲間と力を合わせて、地元を守るために頑張りたいと思います。



山代分団

木寺 雅昭
（山代町楠久）
第1部（団員）

地域活動を行いたいと思い消防団に入団しました。気づいたら親子4人入団していました。父が所属していた年数の15年以上は、最低でも活動して行きたいと思います。目標として団員が全員参加できる雰囲気のない消防団にしていきたいです。



松浦分団

井手 辰博
（松浦町藤川内）
第4部（団員）

消防団に入団して6年になります。その間いくつかの火災に出動しました。その現場で活動する中で訓練や機材の点検の大切さを学びました。入団したおかげで地域の先輩・後輩たちとのつながりができてよかったですと思います。今後は、地域の人たちから信頼される消防団員になりたいです。



波多津分団

小田 真司
（波多津町板木）
第5部（団員）

消防団は楽しいところです。特に年1回の旅行は最高です。わたしは昨年伊万里市消防団ラッパ隊に所属していますが、毎日の訓練に参加し一日も早くラッパが吹けるようになりたいです。今後は、地域住民の防火意識の向上と火災ゼロを目標に頑張ります。

気持ちが届められた 力作が勢ぞろい

『国際アマチュア陶芸展伊万里2005』が、大川内山にある伊万里・有田焼伝統産業会館で4月1日から10日まで開かれました。

この陶芸展は、大川内山での春の窯元市に併せて開いているものです。今回は全国19都府県から、一般の部に115点、子どもの部に272点の合計387点の出展がありました。

なお、陶芸展の上位と市内の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

◆一般の部

▽鍋島大賞 長谷川亜季(東京都)

▽優秀賞 藤内紗恵子(岡山県)

▽特別賞 長谷川夕基子(東京都)
井上 眸(福岡市)

▽市長賞 前田美千代(和歌山県)
中西信行(埼玉県)
三澤公子(栃木県)

◆子どもの部

▽優秀賞 日高温美(唐津市)

▽特別賞 樋口絢允(大川内町)

▽佳作 石田三南子(西有田町)
藤邑健太(新天町)

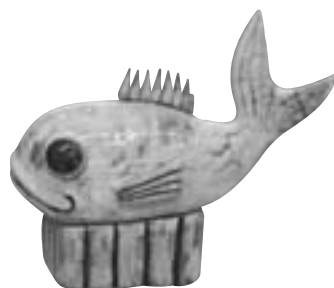
▽努力賞 青木 光(大川内町)
岩崎夕季(大川内町)

▽市長賞

◆審査評 アマチュアらしいユーモラスな表情・独特な文化と、絵付けの素晴らしさが良くマッチした楽しい作品に仕上がっている。



鍋島大賞受賞作品 『愛の夢』



子どもの部優秀賞受賞作品 『唐津曳山(鯛)』



一般の部 鍋島大賞

作陶を始めて10年目で、2年前から羽ばたく鳥について、文献を見て勉強し、絵を形にして平和な感じを表現しました。今後も自分が楽しめてハッピーな作品を作っていきたいと思います。

東京都世田谷区 長谷川 亜季さん

※お便りコーナーでも紹介しています



子どもの部 優秀賞

学校の授業で先生に習いながら初めて焼き物に挑戦しました。しっぽの部分が細くて苦勞しましたが、優秀賞を受賞できて、中学校生活のいい思い出になりました。また機会があれば作りたいです。

西唐津中3年 日高 温美さん

伊万里市老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員を募集します

今年度、高齢者保健福祉事業および介護保険事業を計画的に実現するため、老人保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しを行います。計画の見直しにあたり、市民の皆さんの意見を反映させるため、一般公募委員を募集します。

◆募集人数 2人以内

※応募者多数の場合は抽選を行います

◆応募資格 4月1日現在満40歳以上の市民で介護経験のある人

◆応募期限 5月20日(金)

◆応募方法 長寿社会課または各

町公民館に準備している応募用紙に必要事項を記入して、長寿社会課まで提出してください

◆任期 平成18年3月31日まで

◆会議開催 年4回程度

◆応募・問合せ先 長寿社会課

(☎2111内線254)

伊万里川河畔屋台村事業を開催します

市街地を流れる伊万里川は、世界に名を馳せた古伊万里の積出港として栄え、にぎわいを見せていた歴史があります。その伊万里川河畔ににぎわいを取り戻し、市民の憩いの場として活用するため、納涼屋台村事業を開催します。家族そろって夏の夕べをご堪能ください。

◆期間 7月8日～8月27日

(毎週金・土曜日)

※期間中の8月12～13日を除く

◆時間 午後4時～午後9時

◆場所 伊万里川河川敷格置寺横

◆内容 伊万里食自慢屋台、農産物直販屋台、フリーマーケット、各種イベントを予定

★屋台村出店者募集中!

◆申込方法 各町(地区)公民館および商工観光課備え付けの申込書に出店希望日、連絡先、販売品目などの必要事項を記載し提出してください

◆提出先・問合せ先 商工観光課

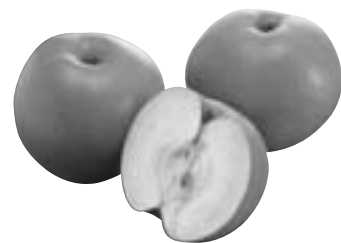
(☎2111内線352)

※その他 テント、机、椅子などの備品については、主催者で準備します

ふるさと薬膳メニューおよび加工品開発委員会(仮称)メンバー募集

伊万里市は今年2月26日『食のまちづくり宣言』をしました。伊万里には、新鮮で安全な食材があふれ、料理を盛るすばらしい食の器も身近にあります。そこで、生産者から消費者までをつないだ『食』のまちづくりをすすめるため、地元の旬の食材を使った『ふるさと薬膳』と加工品の開発や農村レストランの検討を行うなど、地域の伝統的な食文化を見つめ直します。

あなたの料理の腕やアイデアを試してみませんか。ふるってご応募ください。



◆応募資格 満18歳以上の市民で、熱意を持って取り組む人

◆募集人員 20人

◆任期 1年間(平成18年3月31日まで)

◆活動内容

①地元の旬の食材を使った『ふるさと薬膳』メニューや加工品の開発

②農村レストランの検討

◆指導者(予定)



新倉久美子さん
食と農を考える
全国女性の会代表

◆活動回数 年8回程度

◆応募方法 男女協働・まちづくり課または各町の公民館に備え付けの応募用紙で申込んでください。また、市のホームページでも掲載

●応募期限 5月20日(金)

●応募・問合せ先

男女協働・まちづくり課

(☎2111内線485)

〒848-8501

伊万里市立花町1355番地1

<http://www.city.imari.saga.jp>

(仮称) セントラルホテル 伊万里が立地協定書調印

(有)武雄ボウリングセンター(武雄市朝日町、山口修代代表取締役)がJR伊万里駅の東隣にビジネスホテルを建設することを決定し、4月6日、市役所で立地協定書調印式がありました。

ホテルが建設される用地は、売却中であつた伊万里駅周辺土地地区画整理事業地内の市有地と土地開発公社用地と民有地を合わせ約2

850^{平方}メートル。総事業費は7億円、鉄筋コンクリート造11階建て、延床面積2315^{平方}メートルで120の客室と会議室2室を備えるほか、駐車場には70台が収容。今年の6月から建設に着工し、来年3月のオープンが計画されています。

また、従業員は、地元から8人を雇用する予定です。

同社は、清本鉄工株式会社(杵島郡山内町)の関連会社であり、

武雄市内でボウリングセンターやセントラルホテル武雄を運営。伊万里市への進出は初めてで、ビジネスホテルとしては2件目となります。

調印式で山口社長は「伊万里市の将来への期待と購入する土地の立地条件のよさで進出を決定しました。今後は、トンテン祭りや観光の集客、地元企業と密着したビジネス面での利用などに努めて行きたい」と話していました。



伊万里駅ビル東隣に建設される
ビジネスホテル完成予想図

リサイクルサンデーにご協力を!

毎月1回、資源ごみの回収として各地区で決まった日曜日に『リサイクルサンデー』が実施されています。ここでは、よく問い合わせのある品目についてお答えします。

- ◆お菓子やお酒の化粧箱 → 出せます
箱だけ縛って紙類(雑誌その他)へ
- ◆海苔の缶、粉ミルクの缶 → 出せます
アルミ・スチールマークを確認して空き缶類へ
- ◆すりガラス、ウイスキーのビン
リサイクルサンデーには出せません
燃えないごみ(赤袋)で出してください

※詳しくはリサイクル推進係までお問い合わせください。



乾電池をリサイクル

ご家庭から出る使用済み乾電池は生活環境課、各公民館のほか各小中学校でも回収しています。ご協力をお願いします。

家庭でできる! 省エネルギーと地球温暖化防止対策

地球温暖化を防止するために、家庭で出来る取り組みを紹介します。皆さん、まずはできることから始めてみましょう。

◆車の利用を少しだけ控えてみる

もし、1日1kmの車の運転を控えると、効果は……年間約81kgのCO₂の削減
年間約3,500円の節約

近くへの外出には徒歩か自転車を利用の方が健康にもいいですよ。

資料:「みんなの家庭で減らそうCO₂」(環境新世紀「エコ・ミレニアム」実行委員会)

問合せ 生活環境課(☎2111内線283)

風水害・土砂災害から身を守ろう

まもなく雨季を迎えます。大雨や集中豪雨による土砂災害に十分注意しましょう

予知が困難とされる地震と違い、台風や大雨はある程度まで時期や規模を予測することができます。しかし、突発的な局地的豪雨のように予測が難しいものもあり、大きな被害をもたらすことがあります。

これらの被害を最小限にとどめるために、正確な気象情報の収集と、身近な環境変化に注意しましょう。

その1

テレビ・ラジオ・新聞など気象情報に注意し、常に最新の情報を聞くようにする



その2

土砂災害の前ぶれに気づいたら、周りの人に知らせていっしょに避難する



その3

1時間に20mm以上、降り始めてから100mm以上になった時は被害の出る恐れがあるので、家の周りの安全を確かめる



大雨の防災対策 6つのポイント

その4

危険な場所に近づかない。雨で増水した小川や側溝、マンホールは境界が見えにくく、転落事故がおこりやすい



その5

自分の住んでいる地域で、災害が発生した場所などを調べ、危険区域を日ごろから把握しておくようにする



その6

危険を感じたり、防災機関から指示があったら、すみやかに避難する



伊万里市環境基本計画 策定委員を募集します

市では、環境にやさしい社会を実現するために、総合的な環境施策の指針となる『伊万里市環境基本計画』を策定します。そこで、策定に参加いただける市民委員を募集します。

▼応募資格

市内在住の18才以上の人で、環境問題に関心のある人
(ただし、高校生は除きます)

▼募集人数 3人

▼任期

委嘱の日から計画策定の日まで

▼応募方法

生活環境課または各町公民館に準備している所定の用紙に必要事項を記入し、応募してください

※所定用紙は市のホームページからもダウンロードできます

※Eメールでも応募できます

▼応募期限 5月31日(火)

▼応募・問合せ先

生活環境課生活環境係

(☎) 2111内線282

※Eメールアドレス

seikaisukanikyou@city.imari.lg.jp



伊万里のまちづくりを考える 伊万里湾を活かしたまちづくり

『伊万里に中国木材(株)が進出したのは知っているが、多くの候補地の中でなぜ、伊万里を選んだのか。わたしたちには見えていない、伊万里の良さ、可能性の話の中に伊万里を見つめ直そう』と伊万里の会(伊万里青年会議所、商工会議所青年部、農協青年部、グローバル伊万里の4団体で組織する地域活性化に努める団体)が3月26日、JA伊万里会館でまちづくりシンポジウムを行いました。

藤村所長は、会社の概要や世界的な問題になっている二酸化炭素の排出抑制をにらんだ木材を通じた起業展開を説明。伊万里に進出した大きな要因を「木材は付加価値が少ないので物流コストを下げたかった。船はトラックに比べて運賃コストが安く、運搬距離が長ければそれだけ安くできる。造船技術は日々進歩している。中国木材(株)は伊万里の港を評価して進出を決定した」と話しました。

基調講演が終わると、参加した約50人の会員は、伊万里湾を活かしたまちづくりについてグループ討議を行い、将来の伊万里を語り合いました。

松浦 バイパスに

待望の産地直売所 『松浦の里』オープン

4月2日、国道498号の松浦バイパス沿いに産地直売所『松浦の里』がオープンしました。

この『松浦の里』は、これまでプレハブの施設でしたが、JA伊万里が国庫補助事業『新山村振興等農林漁業特別事業』により、総事業費約6000万円で旧施設の隣に建設しました。

施設は、鉄骨平屋建てで約360坪。バス4台と普通車約50台が駐車できるスペース

を確保。店内には地元生産者グループ『百菜の会』(123人)の新鮮な野菜などが並べられていました。また、伊万里市の東の玄関口にふさわしく観光パンフレットや市内地図などインフォメーションコーナーも設置されています。

この日は、午前9時からオープンングセレモニーがあり、テープカットや松浦小学校3年生による和太鼓の演奏、松浦保育園児の合唱、関係者によるもち投げなど多彩な催しで開店を祝いました。

開店に集ったたくさんの人たちの前であいさつに立った百菜の会会長の原口さんは「この松浦の里に百種の野菜を出すことを目標に頑張ります。皆さんに末永くかわいがってほしい、そして利用していただきたい」と話していました。また、お祝にかけつけ



松浦小学校3年生の児童による和太鼓演奏



開店のお祝に歌った松浦保育園児

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No.157

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

『かけがえのない命を大切に』

平成17年度も、はや一月が過ぎました。新しいランドセルを背負った一年生も、そろそろ学校に慣れたころでしょうか。子どもたちはみんな、それぞれ進級・進学して大きな希望を胸に、新しい歩みをはじめています。

この二月末ごろからでしょうか、市内のあちらこちらに『子ども一〇番』ののぼりが立てられるようになりました。『子ども一〇番の家 困ったらいつでもおいで』と呼びかけています。



黒澤記念館 サテライトスタジオ ピエゾグラフィによる 黒澤明絵コンテ展

黒澤明監督の世界を現在に伝える『絵コンテ』をもとに創られた『ピエゾグラフィ』

地域の協力で子どもたちを犯罪被害から守りたいという、保護者や関係者の願いが強く込められています。願いと言うより、心配と言うべきかも知れません。その心配や願いは、今、子どもたちの幸が壊されている、しかも、それが多発傾向にあるという残念な現実から生まれています。

当然、**全ての子どもが『幸せに生きる権利』**を持ち、安全に見守られなければなりません。

しかし、現実はその逆…その原因はどこにあるのでしょうか。

うか。

今、国民一人ひとりの人権意識が問われています。人権とは何かを正しく理解し、互いに尊重し合い、支え合って生きることの自覚とその実行が、今、私たちに求められています。『育てよう 一人ひとりの 人権意識を思いやりの心 かけがえのない命を大切に』

これは、法務省が、平成17年度啓発活動全国統一重点目標として定めたものです。

児童虐待、小中学生殺傷事件など、残忍で痛ましい事件が多発していることを憂慮し、国民一人ひとりが人権尊重の理念を正しく理解し、実践することの重要性を指摘しています。

『子ども一〇番』ののぼりは、風にはためきながら、『育てよう 一人ひとりの 人権意識』と、私たち一人ひとりに呼びかけています。

郷土の文化財

伊万里市の文化財②

梅岩のヒラドツツジ

市内最大！ ヒラドツツジの巨樹

ツツジはツツジ科ツツジ属の植物の通称です。世界中で自生、または観賞用に栽培され、50属約150品種が知られています。

ヒラドツツジは長崎県の平戸で生まれた品種とされ約300品種があります。

ヒラドツツジの母体は、おもに沖縄産のケラマツツジとされています。そのため寒さに弱いのです。

ツツジの中では最も大きくなる品種で、成育も早いのが特徴です。

松浦町にある梅岩のヒラドツツジは、樹高が約3・8m。4本立ちで、地上30cmの幹周りが50cmもあります。推定樹齢は350年ほどとされています。

4月末から5月の初めに、直径約9cmの濃い紅紫色の花をつけます。



市内にあるヒラドツツジでは最も大きく、また、ヒラドツツジの育種学的な研究をする上で価値が高いので、平成8年に伊万里市天然記念物に指定されました。

一時、樹勢が衰えていましたが、所有者の懸命なご努力で着実に回復しています。個人宅のお庭にありますから、見学はご遠慮ください。

みんなの

広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。

☎23-2111(内線207)



4.9

左から椎葉隆司伊万里ケーブルテレビ社長、藤泰治市民チャンネル会長、久保田健治西海テレビ社長

市民グループへチャンネル開放

市民自らが取材、制作した番組をケーブルテレビで放送する協定書の調印式が伊万里商工会館でありました。県内初の試みで、設立した市民グループ『PAC伊万里市民チャンネル』(藤泰治会長)と伊万里ケーブルテレビ、西海テレビの三者が調印。現在は、市民にチャンネルを開放し、毎週土曜日の午後6時と9時の2回、30分の枠で放送されています。市民みんなで作る番組に興味がある人は●問合せ☎227702へ



4.6

火災現場での人命救出に感謝状贈呈

今年3月、新天町で発生した建物火災で、伊万里スイミングクラブ(代表太田明二さん)従業員6人が初期消火を行い、逃げ遅れた負傷者を同クラブ坂本信彦さん、岩崎弘幸さんと二里町金武の峯與人さんが救出し、消防長から感謝状が贈呈されました。



4.9

3000本の竹灯ろうで幻想的な空間

地元まちおこしグループ『二里町をなんとかしゅう会』が昨年に続き、有田川河川敷に3000本の竹灯ろうを並べ『観竹まつり』を行いました。当日は、強風のため竹筒への点火が難しい状況の中、苦勞して灯された竹筒は、幻想的な癒しの空間を演出していました。

梨園で『唄・農・食』のふれあい交流

南波多町屋敷野の梨園で、コーラスの会コール伊万里と南波多農家女性グループ南波多あいりん会とのふれあい交流が行われました。当日は、満開の梨の花のもとコール伊万里30人が『白いなしの花』の唄を披露し、あいりん会は田舎料理でもてなしました。



4.8

3.31



ナベヅル320羽飛来

東山代町長浜干拓に3月30日、ナベヅル320羽が飛来しました。これは、鹿児島県出水平野からシベリアへの北帰行の途中に立ち寄ったと見られ、4月2日にはここ数年で最大の320羽が羽を休め、翌日の朝一斉に北へと飛び立っていきました。

こんな大きな大根見たことありますか？

みなみ保育園に、大きさ74cm・重さ9.4キロの大根が届きました。この大根は、同保育園ゆり組の松尾貴貴くん（写真中央）の家の畑で採れ、こんなに大きな大根は珍しいと園へ持ち込まれたもので、園児たちも自分と変わらない大きさにビックリしていました。

4.8



4.8

東山代町の明星桜がテレビで生中継

東山代町浦川内の『明星桜』がテレビ朝日の情報番組『報道ステーション』のお天気コーナーで生中継されました。当日は、同番組スタッフが大規模な機材を用いて明星桜をライトアップ。クレーンに設置されたテレビカメラを用いて迫力ある映像が流れました。

伊万里の未来を担う新入社員研修

新入社員研修会が伊万里商工会館で行われました。これは、伊万里商工会議所が毎年行っているもので、市内企業20社から37人の新入社員が参加しました。研修会では、社会人としての心構えやビジネスマナーなど2日間にわたり、みっちり研修がありました。

4.6



大きく口を開いて元気良く声を出しましょう



※全日本写真連盟

春の大川内山撮影会

全日本写真連盟熊本本部の春の撮影会が大川内山で開催されました。県内外

から約100人の写真愛好家が参加し、大川内山の絶景を何度もカメラに納めていました。

4.3



『秘窯の里』大川内山で毎年恒例の春の窯元市がありました。春爛漫をテーマに窯元が新作を展示し、店内を春一色に飾りました。この日は、時折小雨が降っていましたが、午後からは晴れ間もさして、山水画を思わせる独特の景観が焼き物ファンを楽しませていました。

大川内山春の窯元市

焼き物ファンとカメラマンが秘窯の里を堪能



黄色いランドセルカバー贈呈式

夢いっぱいの新入生を 交通事故から守ろう！

市内の各小学校で一斉に入
学式が行われた4月11日、波
多津東小学校で『黄色いラン

ドセルカバー贈呈式』があり
ました。



この贈呈式は、これから
毎日学校へ通う新入学児童を
交通事故から守るため、市が
交通安全の願いを込めて、毎
年小学校の入学式に合わせて行
っているものです。ランドセル
カバーは市内の新入学児童
全員に贈られており、今年の
対象児童は、595人です。

この日は、吉富収入役が波
多津東小学校の入学式を訪
れ、児童代表の古河芹菜さん
(写真右)と古河遼祐くん
(写真左)へランドセルカバ
ーを贈りました。



いつまでもお元気で

二里町大里 山口キンさん 百寿メダル

山口キンさん(二里町大里)
が3月20日、めでたく百歳の
誕生日を迎えられ、塚部市長
から百寿記念メダルが贈られ
ました。

キンさんは、明治38年3月
20日生まれで、現在は市内の
病院に入院中です。少々耳が
不自由なもの元気で、病院
の皆さんからもおめでとうご
ざいますと花束を贈られ、祝
福を受けました。

現在は病気療養中ですが、
食べ物の好き嫌いもなく、何
でもおいしく食べています。
なかでも好きな食べ物は「チ
ョコレート」と、キンさんは
話していました。

市長が百寿メダルをキンさ
んの首にかけて「百歳おめで
とうございます」と声をかけ
ると、キンさんは「ありがと
うございます」と嬉しそうに
答えていました。

園児と高齢者 交通安全教室

伊万里自動車学校で、4月
8日、みなみ保育園の園児と
大坪地区、立花地区の高齢者
が参加して、交通安全教室が
行われました。

園児たちは、おじいちゃん、
おばあちゃんたちと、斜め横
断の危険性などについて真剣
な表情で研修しました。



四季の詩

広々と麦畑続き背振山見ゆ

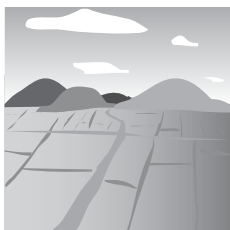
松島町

小島 春蘭

水鳥もゆったり波にゆられつつ五月晴れな
る満潮の海

下土井町

友廣 竹子



皆さん、調子はどうですか？

市民病院の医師やスタッフが、皆さんの健康管理に役立つ情報を紹介するコーナーです。

今月の担当は、主任看護師 松尾妙子さんです。

市民病院(☎ 4121)

今月は、『血液』についてお知らせします。血液がドロドロになると、動脈硬化を起し、寿命を縮める原因になります。皆さんもこれを読んで、血液を手エックしてみてくださいね。



あなたは大丈夫？ 血液ドロドロ度チェック！

人の体に流れている血液は、サラサラなら体のすみずみまでスムーズに流れるのですが、ドロドロと粘っている。と当然流れが悪くなります。血液はうまく循環しなくなると、体のあちこちで異常を生じてしまい、その代表が生活習慣病といわれる動脈硬化などです。

では、サラサラな血液をドロドロにしてしまう主な正体は何でしょう。それは『脂肪』です。血液中の脂肪が、普通より多くなりすぎる病気を『高脂血症』と呼びます。『高脂血症』はやがて『動脈硬化』に進行してしまうことが多いのです。動脈硬化が引き起こす病気としては、『脳梗塞』、『狭心症や心筋梗塞』、『腎臓病』などがあります。

- ① 肉類が好き
 - ② 早食いである
 - ③ ケーキなどの甘いものが好き
 - ④ 野菜をあまり食べない
 - ⑤ 朝ご飯を抜くことが多い
 - ⑥ ラーメンのスープを飲み干してしまう
 - ⑦ 運動不足である
 - ⑧ タバコを吸う
 - ⑨ 睡眠不足の日が多い
 - ⑩ ストレスが多い
- など、当てはまるものが多い人は、生活習慣の見直しをしましょう。

サラサラ血液になるための心得10か条をお教えます！

- ① 食べ過ぎない。腹8分目を心がける
 - ② 揚げ物よりも、網で焼いたりゆでるなど、脂肪分を少なくするよう工夫をする
 - ③ 卵黄やバター・レバーなどのコレステロールの高い食品を控える
 - ④ 糖質のとりすぎに注意する
 - ⑤ お酒は控える
 - ⑥ 野菜・海藻類・いも・こんにゃく・豆類・きのこ類などの食物繊維を毎日食べる
 - ⑦ サバ・イワシ・サンマなどの青魚をとる
 - ⑧ 適度な運動をする
 - ⑨ 禁煙
 - ⑩ ストレスはため込まず、十分な睡眠をとって心身をリラックスする
- しっかり栄養をとって体内のすみずみまで、サラサラとした血液を運び、健康な体をつくりましょう。

ほほえ美さん

かしはら ちあき
梶原 千明さん(20歳)



★柳井町
★しし座・O型

★お仕事は
(株)伊万里鉄工所に勤めて3年目です。毎日たくさんの伝票をパソコンに入力しています。

★趣味は
温泉に入ること、仕事の帰りなど週に一回は行ってみたいです。

★やってみたいことは
もっと字が上手になるよう、以前習っていた書道。それとスポーツにもチャレンジして自分の視野を広げたいですね。

★夢は
結婚して楽しい家庭をつくることです。

わが家の

アルバム

やまだ りか
山田 理加ちゃん(1歳9か月)



★一正・秋子さんの長女
★二里町西八谷掬

わたくしは、保育園が大好き。いつも砂場やすべり台で楽しく遊んでいるよ。でもお迎えの時間が嫌いな。だってまだいっぱい遊びたいから、帰りたくないと言ってお母さんを困らせています。この前、ジジとパパと一緒に貝掘りに行って、とても楽しかったよ。

おかあさんからひとこと
好き嫌いがはっきりしていて、しっかり者の理加ちゃん。いつも元気で素直な女の子になってね。





優勝報告のため市役所を訪れたメンバー

虹の松原カップ西日本選抜小学生クラブ駅伝競走大会

三香クラブ男子初優勝

3月27日、第17回虹の松原カップ西日本選抜小学生クラブ駅伝競走大会が唐津市虹の松原のコース（7区間15キロ）で行われ、男子は伊万里三香クラブが念願の初優勝を飾りました。

大会には九州、沖縄から男子24チーム、女子13チームが出場。三香クラブは6区の前川貴宏さんと7区の岩崎瑛くんが区間賞を取る活躍を見せました。女子は11位でした。

5月の町民スポーツ

- 5日(木)
 - 黒川町子ども相撲大会
8時半開会 黒川小学校
- 8日(日)
 - 伊万里町民運動会
8時45分開会 伊万里小学校
 - 波多津町民体育祭
8時半開会 波多津運動広場
- 14日(土)
 - 南波多町
グラウンドゴルフ大会
18時開会 南波多小学校
- 15日(日)
 - 大川内町民
300歳ソフトボール大会
8時開会 大川内小学校
 - 二里町民体育大会
9時半開会 二里小学校
 - 山代町民ミニバレーボール大会
8時半開会 山代中学校
- 22日(日)
 - 大坪地区町民運動会
8時半開会 大坪小学校
 - 松浦町民ミニバレーボール大会
9時開会 東陵中学校
- 25日(水)
 - 伊万里町民ゴルフ大会
11時半開会 武雄・嬉野CC
- 29日(日)
 - 立花地区町民運動会
8時半開会 立花小学校
- 6月5日(日)
 - 伊万里町民球技大会
8時40分開会 伊万里小学校 ほか

第22回近隣中学校女子ソフトボール大会



国見中 準優勝

今年で22回目を数える近隣中学校女子ソフトボール大会が3月12日、4月2日（決勝戦）の2日間、国見台球場で行われました。

この大会は、市内中学校4校と近隣から4校の参加があり、トーナメント方式で優勝を争いました。3月12日の試合で国見中学校と浜玉中学校の2チームが順当に勝ち上がり、4月2日の決勝戦出場を決めました。

決勝戦では、国見中学校が3回まで優位に試合を運んでいましたが、中盤からリードを許すとそのまま得点することができずに試合終了。結局7対11で惜しくも準優勝となりました。

5月の市民スポーツ

- 1日(日)
 - 招待高校野球大会
9時半開始 国見台野球場
- 3日(火)
 - 国見台陸上競技選手権大会
9時20分開始
国見台陸上競技場
- 3、4、5、7、8日
 - 市長旗争奪伊万里地区
高等学校野球春季大会
9時開会 国見台野球場
- 15日(日)、22日(日)
 - 市スポーツ少年団野球交流大会
8時開会 立花小学校 ほか

第29回 伊万里市内バドミントンダブルス選手権大会

伊万里市内バドミントンダブルス選手権大会が4月3日、国見台体育館でありました。主な成績は次のとおりです。

【一般男子】		【一般女子】	
▼優勝	大川内信夫 上村正臣	▼優勝	深浦茂子 光武正子
▼準優勝	永石剛 田中良文	▼準優勝	山口節代 中村逸子
▼第三位	土井和則 山田浩介	▼第三位	平山さゆり 松尾肇子

子育て支援センターに遊びに来ませんか

- **1 ポッポママのつどい**
就園前の乳幼児とその保護者
★ピクニック(雨天中止)
日時 5月10日(火)10時半
場所 ウエルサンピア伊万里
わんぱく広場(現地集合)
- ★離乳食について
日時 5月31日(火)
10時半~11時半
場所 子育て支援センター
- **2 つくしんぼランド**
就園前の乳幼児とその保護者
日時 5月17日、24日(火)
10時~12時
場所 伊万里市民図書館
※1・2は申し込みはが必要です
- **3 わくわく広場**
ちゅうりつぷコース、ひまわりコース、ベビーの広場を開催しています。ご利用ください。
◆問合先 子育て支援センター
(☎25197)

● 日時 5月12日(木)
午前11時開式
● 会場 市民会館
※当日は駐車場が不足します

伊万里市 戦没者追悼式

お知らせ



人間ドック・脳ドックに助成します

● 対象者
①伊万里市国民健康保険被保険者であること
②申請時に40歳以上69歳以下の(老人医療受給者および入院療養中の人を除く)
③伊万里市国民健康保険税の滞納がない人
④今年度内に人間ドック・脳ドックの受診をしていない人
《人間ドック》
▽自己負担金 9080円
▽指定医療機関
市民病院ほか市内7病院

無料特設人権相談

● 相談内容
人権問題、相続、不動産、借地借家、金銭貸借、家庭の問題など

▽検査項目数
血液等検査、心電図など16項目
《脳ドック》
▽自己負担金 1万470円
▽指定医療機関
山元記念病院、西有田共立病院

▽検査項目数
頭部MRI、血液検査など10項目
※どちらも人数制限がありますので申し込みは早めに
● 問合先 長寿社会課
(☎2111内線223)

小規模土地改良事業の申請受付

● 日時 5月17日(火)
午前10時~午後3時
● 会場 市役所1階市民相談コーナー
● 問合先 佐賀地方務局伊万里支局
(☎2492)

農業基盤の整備を図るため、小規模な土地改良事業を共同で施工する場合には補助金を交付します。
● 対象事業
事業の受益農地が1畝以上で、受益戸数が5戸以上ある農道、水路、ため池などの新設、舗装、改良、しゅんせつ事業
● 補助率 事業費の50%以内
● 補助金額の上限 50万円
● 申請方法
計画地区ごとに申請書と現況写真を添付し、区長名で申請してください
● 提出期限 5月31日(火)
※昨年申請し、未認可となった地区については再度申請が必要です。期限は厳守してください
● 申請・問合先 農山漁村整備課
(☎2111内線376)

住民基本台帳法に基づく閲覧状況を公表します

平成16年度における閲覧状況は次のとおりです。

◆問合先
市民課記録管理係
(☎2111内線212、213)

	業 者		公的機関		合 計	
	申請件数	閲覧件数	申請件数	閲覧件数	申請件数	閲覧件数
上半期	25	6,857	4	404	29	7,261
下半期	20	2,680	2	86	22	2,766
合 計	45	9,537	6	490	51	10,027

歴史民俗資料館 寄贈品公開展示

平成16年度に、市に寄贈していただいた貴重な歴史的資料を展示します。

● **主な展示品** 市内で出土した遺物、銀盤写真類、薬劑はかり、市内老舗の大福帳など

● **期間** 5月17日(火)～6月19日(日)

午前10時～午後5時

※毎週月曜日は閉館します

● **会場** 歴史民俗資料館

● **入館料** 無料

● **問合せ** 歴史民俗資料館

(☎②7107)

伊万里青年会議所 タイムカプセル開封

30年前に伊万里青年会議所が行った『JC教室』で創立10周年を記念して、タイムカプセルを埋設しました。

当時、その中に思い出を詰めた皆さんは、タイムカプセルの開封を行いますので、お集りください。

● **日時** 5月29日(日)

午前10時

● **場所** 市民会館駐車場内 モニュメント前

● **問合せ** 伊万里青年会議所

事務局 (☎③3616)

駅通プラザが オープンしました

駅通商店街に休憩スペースや各種サークル団体の発表・展示スペースを設けた『であい・ふれあい駅通プラザ』がオープンしました。お気軽にご利用ください。

● **場所** 駅通商店街(いまりんバスバス停前)

● **時間**

午前10時～午後6時(無休)

● **問合せ** 駅通商店街振興組合 (☎③5166)



● **募集部門** 歌、器楽
※ソロ出場、民謡、カラオケ、ロックバンドなどは参加できません

● **応募資格** 市内在住者または市内で常時活動している団体に所属している人

● **応募方法** 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、生涯学習センターまたは各町公民館へお申し込みください

● **応募期限** 6月30日(木)

● **問合せ** 市民音楽祭実行委員会事務局(生涯学習センター) (☎②1262)

男女共同参画の翼 団員募集

県民を海外へ派遣し、国際的視野を広めながら女性の社会参加の状況について研修し、男女共同参画社会づくりのリーダーを養成するため、『男女共同参画の翼』の団員を募集します。

● **訪問先** アメリカ、カナダ

● **日程** 10月下旬

● **募集人員** 9人

● **募集期限** 5月24日(火)

● **応募資格**

▽県内に居住する人

▽おおむね50歳以下の男女

▽研修の成果を生かし男女共同参画社会づくりのため積

● **申込先**

男女協働・まちづくり課

(☎③2111内線485)

● **問合せ** 申込先または財佐

賀県女性と生涯学習財団

女性センター事業部

(☎0952②0011)

「鳥栖スタへ行こう！」

無料招待します

5月21日(土)午後2時から鳥栖スタジアムで開催される『サガン鳥栖VSベガルタ仙台』の試合に無料招待します。

● **申込方法** 体育保健課内の所定の申込用紙に必要事項を記入されると、その場でチケットをお渡しします

※電話等での受付はできません

● **申込期限** 5月20日(金)

● **問合せ** 市教育委員会 体育保健課 (☎③2111内線465)

市民音楽祭に 出場しませんか

● **日時** 11月27日(日)

午後12時半開演

● **会場** 市民センター

麦わらの焼却をやめ 資源の有効利用をしましょう ～めざそうクリーンスカイさが～

今年も麦類の収穫シーズンとなりました。収穫後の麦わらは、現在60%が焼却されていますが、焼却の際に出る煙が沿線道路の通行や住民の生活に影響し、苦情が寄せられています。やむを得ず麦わらを焼却する場合は、事前に周辺の人たちへのお知らせと、風向きや時間帯などを配慮し、延焼や交通事故などの防止に努めてください。

問合せ 農業振興課営農流通係 (☎③2111内線375)

5月の行事

- 市民センター** ☎ 23911
 10日(火) 伊万里市消防団入団式
 18時半 関係者
 25日(水)~29日(日) 市美術展
 9時~17時 無料
- 市民会館** ☎ 227105
 12日(木) 戦没者追悼式 11時 関係者
 19日(木) 南こうせつ
 コンサートツアー2005
 開場 18時半 開演 19時
 前売 5,500円(当日6,000円)

- 市民図書館** ☎ 234646
 5日(木) 子どもの日 特別開館
 10:00~17:00
 ★映画上映会(無料) 13:30~
 5日(木) 子映 「ハリリーポッターとアズカバンの囚人」(日本語吹替)
 8日(日) 特映 「ラストサムライ」
 22日(日) 一映 「赤ちゃん教育」
 ★おはなしかい
 毎週土曜日 14:30~15:00
 のぼりがまのおへや
 ★おはなし012(赤ちゃんやちっちゃい子たち向け)
 毎週木曜日 11:00~、11:30~(1日2回)
 のぼりがまのおへや

市民相談

会場:市役所 1階市民相談コーナー
 時間:10時~15時 無料・秘密厳守

- ▶ 法律 (水) 11.25
- ▶ 暮らしのトラブル相談 (木) 6(金).6月2日
- ▶ 暮らしの知恵相談 (木) 19
- ▶ 交通事故 (火) 10
- ▶ 行政 (水) 18
- ▶ 人権 (火) 9(月).17
- ▶ 身障者 (月) 23
- ▶ 消費生活 (月) 2. 9.16.23.30
- ▶ 女性就業 (水) 2(月).11.18.26(木)
- ▶ 社会保険 (金) 6.13.20.27

- ボランティア相談…毎週月曜日
 10時~15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日
 10時~16時 会場 市民ロビー
- 健康相談…毎月第1火曜日
 13時半~15時 会場 市民ロビー

春季行政相談強調週間 5月16日~22日

総務省では国などの行政に対する苦情・意見・要望を受け付け、行政運営の改善等に結びつける業務を行っています。行政について納得できないことやお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

◆ 問合せ 情報広報課市民サービス係
 (☎ 2111 内線 225)

どっちゃん祭りの スタッフ募集



伊万里の夏・どっちゃん祭り実行委員会は、より多くの市民参加を得て祭りを盛り上げていくため、ボランティアスタッフを募集します。あなたもぜひ参加しませんか。

活動内容

企画から運営まで、祭りの全般にわたって携わります

参加資格

原則として18歳以上の人(高校生は学校および保護者の同意が必要です)

申込方法

電話で実行委員会事務局まで申し込んでください

申込・問合せ先

伊万里の夏・どっちゃん祭り実行委員会事務局(商工観光課内)
 (☎ 2111 内線 385)

河川愛護モニター募集

松浦川、徳須恵川沿岸にお住まいの人から、河川愛護モ

ニターを募集します。

募集人員

松浦川モニター・徳須恵川モニター それぞれ1人

※いずれも各河川から5キロ以内に住する人

任期

平成17年7月1日から1年間

募集期間

5月6日(金)~20日(金)

謝礼金

月額4580円

問合せ先

国土交通省武雄河川事務所
 (☎ 0954 7934)

くいまり山岳会

日時 5月28日(土) 午後9時集合~29日(日) 午後6時解散

参加費 7000円

※傷害保険料を含みます

● 集合場所 市役所玄関前

● 定員 50人

● 申込期限 5月14日(土)

※定員になり次第締め切り

● 申込・問合せ先 いまり山岳会事務局(喫茶ダジュール内) (☎ 25110)

● 入会しませんか
 シルバー人材センター

● 応募資格 市内に住する原則として60歳以上の人で、健康で働く意欲のある人

● 仕事内容
 ▼福祉・家事援助サービス
 ▼公民館、学校、駐車場管理
 ▼植木の手入れ、消毒
 ▼公園の清掃、草刈り

▽農作業の手伝い など

● 申込・問合せ先 シルバー人材センター (☎ 23471)

しけん

佐賀県調理師試験

● 受付期間

5月23日(月)~27日(金)

※郵送の場合 27日消印有効

● 試験日時

7月14日(木) 午後1時

● 会場

はがくれ荘(佐賀市)

● 手数料 6100円

● 問合せ 保健所または県健康増進課

(☎ 0952 7074)



ふるさと
故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらっやいます。
また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。
このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

『愛の夢』

東京都世田谷区 長谷川 亜季さん



陶芸を習い始めたのは、10年前のことで、たたら作りのコーヒーカーップが2つ、やっとの思いで出来上がりました。今でも大切に使っています。土を練り、成形し、釉薬をかけて焼き上げるまでの工程のひとつひとつを注意深く、創造と想像を重ねながら進んで行く作業と、完成した作品に初めて対面する時のドキドキ。そして、良くてでもそうでなくとも湧く愛情。それまでにない不思議な魅力に引き込まれて今日まで続けて来ました。わたしにとっての世界にひとつの宝物は、日常の中にいつも温かさや豊かさを与えてくれますし、贈り物にして、相手の方が喜んで下さると、これほど嬉しいことはありません。それだけで充分楽しんで

ましたが、大きいものを作り始めた5年前、先生にすすめられるまま、初出した作品で、奨励賞を、それ以後も続けて入賞し、昨年は、それまでで最高の市長賞をいただき、嬉しいまさかの連続となりました。そして、今年の吉報には、まさに声も出ない程、驚きでした。マイペースでも続けていると、思ってもみない幸運に恵まれることがあるのです。本当にありがたいございました。

最後に少し、作品のことをお話します。まず、赤土で鳥の形を作り、細かい羽は象がんと、大きな羽を白化粧した上にゴスで絵を描きました。鳥は、空を舞う自由を、花や家、動物、ピアノなどは、身の回りにある大切なものを表しています。毎年、新しいことに挑戦するよう心がけています。が、今回、慣れないデッサンに多くの時間を費やしました。おぼろげにイメージがつかめるようにな



鍋島大賞受賞作品『愛の夢』



人のうごき

平成17年4月1日現在
 ●人口 59,200人 (-180)
 男 28,242人 (-94)
 女 30,958人 (-86)
 ●世帯 20,782世帯 (+5)
 () は前月比

広報伊万里 2005-5

■発行日／平成17年5月1日
 ■発行編集／伊万里市情報広報課広報係
 (0955)23-2111
 〒848-8501佐賀県伊万里市立花町1353番地1
 ■伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
 ■印刷／山口印刷株式会社

桜の季節もあつという間に過ぎ、過ぎやすい気候の5月になりました。今月号の中で、新入生へのランドセルカバー贈呈式を紹介しましたが、この時の取材は、わたしもピカピカの1年生と同じく広報担当になって、初めて一人で行った取材で、わたしの入学式でもありました。

初々しい表情をしていた子どもたちも、これからの学校生活の中で、さらにたくましく成長をしていくでしょう。わたしも子どもたちに負けないよう頑張って取材に出かけ、みなさんとの出会いを楽しみにしています。取材の時は、たくさん笑顔写真を撮らせてください。よろしくお願ひします。(K)

編集室から

